

町立図書館年間報告

～昨年度を振り返って～

昨年4月、町立図書館と、町内の小学校・中学校がネットワークでつながり、各館が所蔵している本の情報を共有出来るようになりました。これによって町立図書館と各学校図書室間の連携が密になり、リクエスト本や、調べ学習に必要な本を、より迅速に生徒のもとに届けることが出来るようになったと感じています。また夏休みには、町立図書館司書と学校図書司書が一緒になって、自由研究の進め方を学ぶ講座、”しらべるとっておもしろい！”を開催し、参加した子どもたちがまとめた研究成果を、秋の読書まつりで展示することができました。

さらにインターネット上から町立図書館の本が予約できる、web予約が徐々に浸透しつつあり、利用件数は前年度の301冊から倍増しています。



図書館利用状況

蔵書冊数	60,350冊	※内20年度受入2,980冊
貸出冊数	90,066冊	(前年・・・81,990冊) ※内学校への貸出6,544冊
予約冊数	7,607冊	※内Web予約700冊
利用人数	24,214人	(前年・・・23,597人)

●ベスト貸出

「ホームレス中学生」 田村 裕
「結婚しなくていいですか。」 益田 ミリ

「強気な小心者ちゃんリターンズ」 鈴木ともこ

●ベスト予約

「夢をかなえるゾウ」 水野 敬也
「流星の絆」 東野 圭吾

※データは平成20年4月1日～

平成21年3月31日利用分

おめでとう 20周年！ ～暮らしによりそう図書館へ～

リレーコラム『わたしと図書館』

第4回

本が好きになったきっかけ

塚田 紗央さん (法勝寺中学校 2年)

私のオススメの本は『彩雲国物語』です。笑いあり涙あり恋ありのファンタジーで、とても登場人物の会話がおもしろいです。また由羅カイルさんのかわいくきれいな絵も気に入っています。それに、この本は私が読書好きになるきっかけになった本でもあります。

あまり行けなくなってしまったけど、行ける暇があったら行ってみたり、学校の図書室に行つて本を借りたりしています。

5年生の半ば頃まで、私は読書がとても嫌いでした。でもある日、一人の友達に、「この本がおもしろいよ」と教えてくれました。私はさっそく図書館に行き、『彩雲国物語』を借りて帰りました。家に帰って読んでみると、今まで読んだどの本よりもおもしろいと思いました。また、世の中にはこんな風に面白い本がたくさんあるのかなあと、そこから図書館によく行くようになって、本がとても好きになりました。

それに今年の6月29日からあった、職場体験では、うれしいことに南部町立図書館で仕事をさせていただき、図書館の一日の仕事の一部を学習しました。私は図書館で教えてもらったことを、これからの生活に活かしたいと、これからの本を読んでいこうと思います。

『彩雲国物語』シリーズ



「はじまりの風は紅く」
ゆきの さい 雪乃 紗衣 (角川書店)